



クラブ訪問 197

反省点を生かしてさらに上達

成田卓球スポーツ少年団

私たち成田卓球スポーツ少年団は、年長1人、小学生9人、中学生6人の計16人。毎週土・日曜日に新山小学校の体育館で活動しています。

練習では、まず始めに、フォア・バック打ちの切り替えしや、サーブなどの基礎練習を行い、その後、試合形式の練習をします。過去の試合での反省点を生かしながら、自分に足りない部分を考えて練習するよう工夫しています。

例えば、大会で積極的に攻め込むことができません。相手のペースに流されて負けてしまった試合がありました。そこで、攻撃の技術を磨くだけでなく、サーブから自分が攻撃するまでの流れを作るため、ラリーの練習を重点的に行いました。今では、試合の中で自分のペースをつかみ、自信を持って攻めることができるようになりました。自分の弱点を克服できるように工夫した結果、実力を伸ばすことにつながったのだと思います。

また、休憩中にも監督からアドバイスをもらいます。監督は私たち一人一人の特徴を把握しているので、プロで活躍している選手などを例に、ドライブ型などの戦型ごとの戦い方を教えてくれます。体力や技術だけでなく、情報を得ることも大切だと思っています。



一球一球を丁寧に

現在、成田卓球スポーツ少年団は、部員を募集しています。私たちと一緒に卓球を楽しみましょう。



素早い切り替えしで打ち込む



成毛 翔星 さん(中学3年生)

試合で勝つ事も大切ですが、何より楽しみながら練習しています。

みんなで舞台をつくり上げる喜び

劇団オムライス

私たち「劇団オムライス」は、毎週土・日曜日に市内の公民館で稽古をしています。結成は3年前。当時高校3年生だった設立メンバーが、高校生だけで演劇の公演をすることを思い付いたのがきっかけでした。公演は評判を呼び、その場限りで解散するはずだった劇団は、活動を続けることになりました。

現在のメンバーは、高校生から20代前半までの10人。そのほとんどが入団時は演技未経験でした。そのため、普段は先輩に教わりながら、発声や筋トレなど基礎練習に取り組みんでいます。公演が決まるとその稽古が始まります。

公演の準備期間は、長くて5カ月で、短いと1・2カ月のときもあります。台本読みから始まり、台本を手にした立ち稽古、その後、徐々に台本を見ないで稽古をしていきます。喜怒哀



台本を片手に立ち稽古



国際文化会館で8月に公演を開催



ほかの劇団の協力も得て公演を終了(メンバーは前列)

楽を豊かに表現できるのは演技の醍醐味ですが、ただ感情を表情に出せば観客に何かを伝えられるわけではありません。稽古は、自分が思い描く演技のイメージと、観客にはどのような見え方しているのかのギャップを埋めていく作業の連続といえます。毎回、演出担当のメンバーから厳しい指導を受け、肉体的にも精神的にもかなり消耗します。

それでも、逃げ出さないのは、仲間がいるから。メンバーが一人欠けても、舞台は成立しません。みんなで一つの舞台をつくり上げる責任を感じるからこそ、やり遂げた時の喜びは大きくなるのだと思います。事実、本番が無事に終わり、観客の拍手喝采を受けると、それまでの大変さは吹き飛んで、演じるのが病みつきになってしまふんです。演劇の魅力に取りつかれてしまった私たちは、これからも演じ続けます。



くぼやまとける 久保山 健くん(1歳)橋賀台

食べ終わったお皿を自分で下げられるようになりました。

たなか ゆうさく 田中 悠朔くん(4歳・右)飯田町
りこ 璃子ちゃん(1歳)

これからも仲良く元気に育ってね。



ふじた よしひろ 藤田 佳宏くん(1歳)橋賀台

今日も元気いっぱい!たくさん遊んでたくさん食べよう!

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ 広報課 ☎20-1503